

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月ユーロ圏消費者物価(速報)

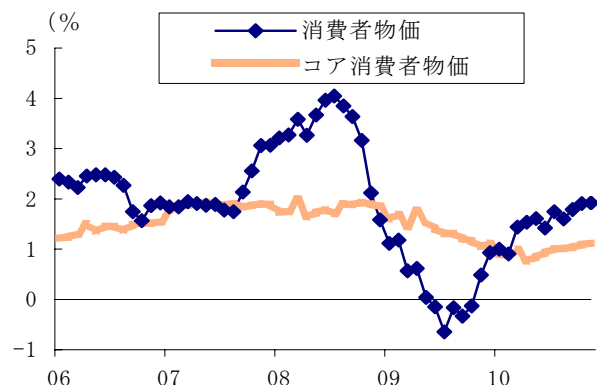
発表日：2011年2月1日(火)

～ヘッドラインの物価指標は目先一段の上振れが予想される～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

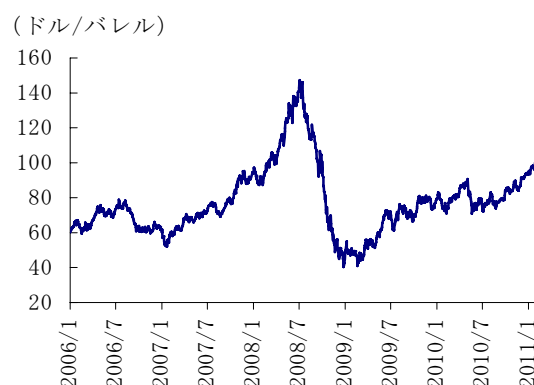
- 1月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+2.4%と前月(同+2.2%)から加速、2ヶ月連続でECBの物価運営目標である「2%をやや下回る水準」を上回った。内訳は2月28日公表の確報値を待たなければならないが、引き続きエネルギー価格や食料品価格の上昇が物価指数を押し上げた模様。エジプト情勢の緊迫化に伴い北海ブレント原油が約2年振りに100ドル/バレルを突破するなど、商品市況の高騰は目先一段と加速する公算が大きい。ユーロ圏の消費者物価には一段の上昇圧力が及ぼう。
- ECBは前回1月初の政策理事会で短期的なインフレ圧力への警戒姿勢を強調した。目先の物価に一段の上昇圧力が及ぶ恐れが高まるなか、2月3日の次回会合でも同様の指摘を繰り返そう。だが、翌日にEU首脳会議を控え、政策期待に支えられた財政懸念の沈静化に水を差すことは避ける見込み。利上げが現実味を帯びるのは、3月末のEU首脳会議での「包括的な政策対応」に対する金融市場の反応を見極め、4月に再開するポルトガルやスペインの国債償還を乗り切った後となる公算が大きい。10月末の任期満了を前に、トリシェ総裁としても、財政危機の一層の混乱とインフレリスクを天秤に掛けた危険な賭けは避けることが予想される。したがって、ヘッドラインのインフレ指標が目先一段と加速したとしても、賃上げ圧力などより広範なインフレの兆しが確認され、中期的な物価安定が損なわれる明白な危険性が高まらない限りは、利上げは次期総裁に引き継がれることになる。

■ユーロ圏：消費者物価(前年比)



出所：Eurostat

■北海ブレント原油先物価格



出所：Reuters Ecowin

■ユーロ圏の消費者物価(%)

	2010				2011							
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費者物価 (前期比)	0.5	0.6	0.4	0.5	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	—
消費者物価 (前年比)	1.1	1.5	1.7	2.0	1.4	1.7	1.6	1.8	1.9	1.9	2.2	2.4
コア消費者物価 (前期比)	0.9	0.8	1.0	1.1	0.9	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	—
コア消費者物価 (前年比)	-1.0	-0.1	1.0	1.5	0.2	0.8	1.1	1.2	1.2	1.4	1.8	—
エネルギー (前年比)	4.8	8.1	7.3	9.1	6.2	8.1	6.1	7.7	8.5	7.9	11.0	—

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。

出所：Eurostat